

# The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine

第62巻 第3号 2025年3月

## CONTENTS

巻頭言

210 「できるだけ多く、できるだけ良く」 藤原俊之

特集

## 211 首下がり症候群に対するリハビリテーション治療

1 | 首下がり症候群の病態 なぜ生じるのか?—整形外科の視点から— 遠藤健司, 他 212

2 | 首下がり症候群の病態 なぜ生じるのか?—神経内科の視点から— 千葉隆司 219

3 | 首下がり症候群を理解するための画像評価 川崎佐智子, 他 225

4 | 首下がり症候群へのSHAiRプログラムによるリハビリテーション治療 船尾陽生, 他 232

5 | 首下がり症候群の病態から考えるリハビリテーション治療 石山昌弘, 他 238

6 | 神経変性疾患に起因する首下がり症候群  
—その評価とリハビリテーション治療— 坪内綾香, 他 245

7 | 首下がり症候群へのリハビリテーション治療の位置づけ  
—脊椎外科医の視点— 古矢丈雄 251

8 | 神経変性疾患にともなう首下がり症候群の  
リハビリテーション治療の可能性 渡辺宏久, 他 257

■教育講座

266 代謝疾患の運動療法 up to date 小川佳子

274 評価法を用いたこれからの障害児の生活期リハビリテーション医療 杉山みづき, 他

280 嚥下障害—新たな発見と臨床応用— 國枝顕二郎

—症例報告—

291 Syndrome of the trephined による, 右手指に限局した麻痺に対して  
リハビリテーション治療を行った1例 高岡哲也, 他

—症例報告—

297 視能訓練士の対応不可能な回復期リハビリテーション病棟における,  
複視患者への視能訓練の試み 江原昌宗, 他

JARM NEWS 新任教授インタビュー

305 池口良輔先生(京都大学医学部附属病院リハビリテーション科) 広報委員会

JARM NEWS REPORT

306 第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会【印象記】 遠藤寿子

307 第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会【報告記】 花山耕三

308 日本リハビリテーション医学会市民公開講座 モビリティと健康 山口朋子

309 次号予告

国内誌編集委員会 担当理事・委員長 下堂 蘭 恵 副委員長 和田 直樹 松瀬 博夫  
委員 青柳 陽一郎 伊藤 修 井口 はるひ 川上 途行 重松 英樹 新見 昌央 橋本 圭司  
林 哲生 原 貴敏 補永 薫 山内 克哉